

第23回 ITS世界会議 メルボルン2016



第23回 ITS世界会議メルボルン2016



出典：<http://www.ats.co.jp/melbourne/>



展示会場



展示会場内

第23回 ITS世界会議メルボルン2016

開催期間:10月10日(月)~10月14日(金)

会場:オーストラリア メルボルン

会議テーマ: ITS – Enhancing Liveable Cities and Communities
— 住みよい街とコミュニティへ —

参加国数:73ヶ国 (2015年 102ヶ国)

参加者数:11,496人 (2015年 12,249人)

会議登録者数:非公表 (2015年 3,871人)

出展企業・団体数:278 (2015年433、2014年330、2013年238)

日本の出展:33 団体 (2015年23、2014年29、2013年116)

セッション数:204 (2015年185、2014年216、2013年219)

過去のITS世界会議参加動向

	2008 ニューヨーク	2009 ストックホルム	2010 釜山	2011 オーランド	2012 ウィーン	2013 東京	2014 デトロイト	2015 ボルドー	2016 メルボルン
参加国数	66ヶ国	64ヶ国	84ヶ国	59ヶ国	91ヶ国	60ヶ国	57ヶ国	102ヶ国	73ヶ国
会議 登録者数	3,298人	2,801人	4,317人	6,510人	10,000人	3,700人	2,462人	3,871人	非公表
展示会 来場者数	5,501人	8,512人	38,700人			10,000人	9,140人	12,249人	11,496人
出展数	250団体	254団体	213団体	236団体	345団体	238団体	330団体	433団体	278団体

(2011年オーランドは、参加国数や参加者数は正確にカウントしていないため、かなり大雑把な数値)

第23回 ITS世界会議メルボルン2016 オープニング

開会挨拶



ITS世界会議2016メルボルンのチェア

ITS Australia President

Brian Negus氏

日本から
国土交通省
国土交通審議官
田端 浩氏



ITS Americaから
President and Chief Executive
Resina Hopper氏



ITS Europeから
ITS Europe CEO
Dr Cees De Wijs氏



第23回 ITS世界会議メルボルン2016 テープカット



テープカットは
昨年と同様にオープニングセレモニーと同じ会場で実施

第23回 ITS世界会議メルボルン2016 日本ブース



日本ブース オープニング

・ブース

開放感があり、どの角度からも内部が見える構造となっていた。両端に人が多く通る動線があり、多くの方がJapanブースを見学したと思われる。

会場全体として、来場者数が例年よりも少ない感じであった。

・日本ブースの出展者

ITS Japan、内閣府、経産省、国交省(道路局)、総務省(ARIB)、VICS、U協、DRM、HIDO、NEXCO3社、首都高、阪神高速、富士通、三菱電機、三菱重工、NEC、住友電工、東芝、ゼンリン、建設技研、日立ソリューションズ、IHI、JTEKT、Micware
(26団体)



日本ブース全景

第23回 ITS世界会議メルボルン2016 道路展示(日本ブース内)



道路展示 全景

第23回 ITS世界会議メルボルン2016 道路展示(日本ブース内)



道路局 展示パネル



一般財団 展示パネル



高速道路会社 展示パネル

第23回 ITS世界会議メルボルン2016 展示



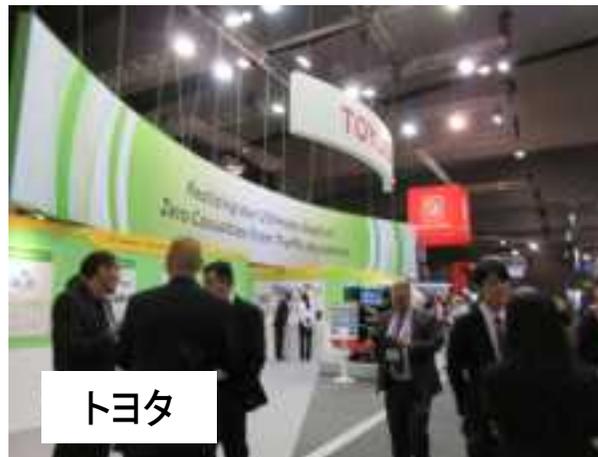
BOSCH



SIEMENS



here



トヨタ



AISIN



パナソニック

・展示全体

展示の規模は昨年のボルドーの三分の二程度の規模、
国や地域の展示が例年よりも目立つ、

BOSCHが初出展

日本企業ではAISINとパナソニックが盛況

セッション概要

今年のITS世界会議のセッション

注目は自動運転(47セッション)とSmart City(69)、昨年注目されたビッグデータ(28セッション)はセッション数が少ない

自動運転は最終日でも立ち見が出るほどの盛況

Smart Cityのセッションは協調ITSや道路課金などが含まれ、特に注目されていたのはMaaS(Mobility as a Service)

自動運転のセッション



Smart City
(協調ITSのセッション)



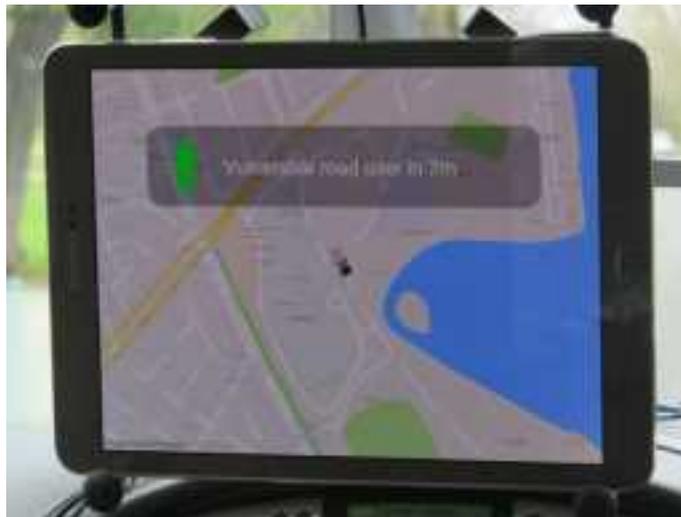
デモンストレーション概要

注目のデモンストレーションは
BOSCHの自動運転(期間中満席)

その他のデモンストレーションは
昨年のデモとあまり変わらない内容
自動運転バス
路車間通信の情報提供サービス



BOSCHの自動運転車両



NXPの路車間通信サービス

信号情報

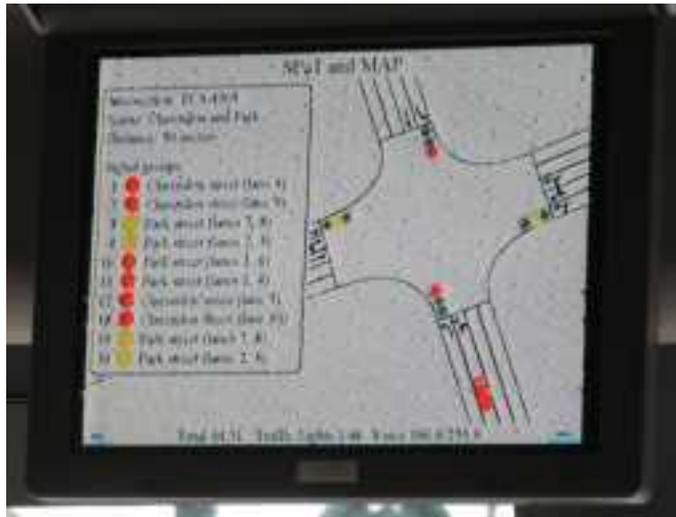
緊急車両接近情報

道路工事情報

横断報道の歩行者接近情報

⇒通信は5.9GHz、歩行者はカメラで検知して
5.9GHzで車に情報を送信

デモンストレーション概要



Q-Freeの路車間通信サービス

信号情報

高架下高さ注意

横断歩道注意

道路課金情報など

(トロンハイムの実験と同様の内容)

⇒通信は5.9GHz



Kapschの路車間通信サービスと

スマートフォンを利用した道路課金

制限速度情報

道路課金(ナンバーとスマホの位置データを
バックシステムでリンク)

横断歩道情報

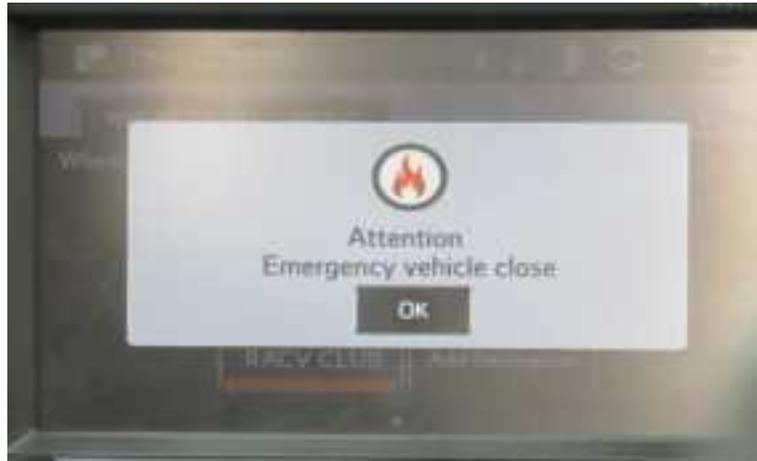
道路工事情報

高架下高さ情報

信号情報

⇒通信は5.9GHz

デモンストレーション概要



Intelematicsサービス

インターネットを利用した緊急車両接近情報
サイレンが聞こえなくても
緊急車両が接近したこと知らせるサービス
緊急車両との接触事故や追突事故を
防止するサービス



ibeoのセンサー技術

センサーを活用した障害物や車両検知

車両の検知は出来ているが、
人や自転車の検知は不完全
位置はGPSを利用しているため、
位置情報にズレが生じるので、
このセンサーで自動運転はまだまだ

第23回ITS世界会議メルボルン2016 クロージングセレモニー



メルボルン大会終わりの挨拶
大会事務局長
Mr. Brain Negus

パッシング・ザ・グローブセレモニー
メルボルンからモントリオールへ

今後のITS世界会議予定

2017年 10月29日～11月2日 モントリオール
2018年 9月17日～21日 コペンハーゲン
2019年 シンガポール

今年のITS世界会議の特徴

●目立ったキーワード

期間中、常に耳に目にしたキーワードは“MaaS”

⇒Smart City (Urban ITS) のサービスの内容や関連技術が期間中どこかで発表が行われた

⇒MaaSのサービスが世界、各国に普及しつつあると思われる

※MaaSはフィンランドの会社の実施、

●セッション

→自動運転、Smart Cityが多い

自動運転のセッションは常に満席、最終日でも立ち見が出るほどの盛況

Smart Cityは協調ITSや道路課金のなどの路車・車車間通信のサービス、技術がまとめられていた

→ビッグデータ

セッション数は少ない

ビッグデータの活用はhere、TomTom、INRIXが主導

今年のITS世界会議の特徴

●展示の特徴

- 展示の規模は、昨年のボルドーの三分の二程度
- 日本企業の展示では、例年はトヨタやホンダが広いブースであったが、パナソニックやAISINが広く目立つブースとなっていた
- BOSCHが初めて展示ブースを設けていた
- 全体的に見て、地域や国の展示ブースが多く感じた
日本、ドイツ、アメリカ、EU、台湾、韓国、シンガポール、フィンランド、中国
アジアパシフィック
- 昨年出展していなかったシーメンスが出展していた

●デモンストレーション

- 目新しいデモンストレーションは無し
- 自動運転は大盛況(BOSCH)
- 路車協調サービスの通信は5.9GHz